



## セーフティネット医療

※結核、重症心身障がい、筋ジストロフィーを含む神経・筋難病など他の医療機関では体制の整備、経験、または不採算とされることからアプローチが困難な分野の医療

# 孤立しがちな患者さん。 ご家族のために

～東埼玉病院の訪問看護ステーション「雅楽谷(うたや)の森」～

## 患者さんやご家族の 在宅療養支援のために

東埼玉病院は埼玉県の東央部、田園が残る蓮田(はすだ)市に位置しています。筋ジストロフィーを含む神経・筋難病や重症心身障がい児(者)などのセーフティネット医療や呼吸器疾患をはじめ、回復期リハビリテーションなどの慢性期医療を中心とした病院です。今年(2018年)の4月から訪問看護ステーション「雅楽谷(うたや)の森」を開設しました。

訪問看護の対象は、神経・筋難病に限らず、さまざまな疾患を抱え療養されている方やご家族です。まだスタートしたばかりのステーションですが、利用者さん・ご家族の想いがかねえられるように、これまで東埼玉病院で培ってきた看護の経験を生かし、きめ細やかで丁寧な

ケアを提供することを目指しています。

## 顔なじみがつなく 安心感とスムーズな対応

訪問看護を担当する看護師は、全員が神経・筋難病看護の経験があるスタッフです。利用者第1号は、東埼玉病院に入院されていた筋ジストロフィーの方で、お互いに顔なじみです。初めての訪問では、2名の看護師が入浴介助を行いました。病院では、リフトバスを使ってスムーズに入浴の援助ができるのですが、家庭では浴槽が壁に固定されているので、介助者の動きが制限されます。ご家族の方にも協力してもらい、頭と体を支える人や洗う人など担当を決め、四苦八苦しなげながらなんとか入浴でき、利用者さんやご家族には、とても喜



### NHO 病院としての使命

「地域医療を支える基幹病院として、訪問看護も重要で」と正田良介院長。高齢化が顕著な周辺地域はまさに「日本の近未来」です。他の病院では対応が困難な訪問看護サービスを提供して、地域で頑張っている病院とも連携を深めながら、地域の医療が崩壊しないよう調整役になりたい、と語ってくれた

▶訪問に出かける石塚こぶゆ看護師(左)と利根川洋実看護師(右)。「患者さんとじっくりと関わられるので、強みを生かして患者さんやご家族の支えになりたい」と石塚看護師。利根川看護師は「一緒に工夫することの大切さに気付かされた。安全に過ごせる時間を長くできるように手助けしたい」と笑顔で語ってくれた



▲「ますます高齢化社会が進むこの地域で、他の訪問看護ステーションと協力し、当院の看護の強みを生かしながら、地域医療の一端を担えるような訪問看護ステーションを目指していきたい」と語る本田看護師



### 敷地に隣接する緑地の小道

周辺は古くから雅楽谷(うたや)と呼ばれ、縄文時代の遺跡の宝庫。実は病院の敷地は埼玉県を代表する縄文遺跡(雅楽谷遺跡)として有名で、古来より人々が暮らし、神に祈りの踊りを捧げたであろう自然豊かな地に東埼玉病院は建っている

んでいただけたいと思います。訪問する度に振り返りを行い、利用者さんの自宅の浴室を見立てて移送と入浴介助のシミュレーションを行い、1か月後にはスムーズに入浴介助ができるようになりました。なじみのある看護師が訪問することはご家族の安心に繋がっています。また、訪問時に得られた些細な変化もすぐに担当医に伝えられるので、その後の対応も早いのです。

## 学びの場でもある 訪問看護

訪問看護では、各家庭の異なる環境に合わせた援助方法を自分で考える必要があるため、高い応用力が求められます。雅楽谷の森のスタッフは、病棟での看護経験が長い看護

師です。入院中に受けた治療を踏まえ、在宅でより長く療養生活が送れるよう、利用者さん・ご家族の生活状況や療養生活に対する思いを院内の看護師に伝え、入院早期から在宅に繋げる看護を実践することを目指しています。また、退院前訪問や退院後訪問を定着させ、訪問看護師と病棟看護師がお互いの経験や思いを語り、継続看護の学びを深め続けているのです。

### 東埼玉病院(埼玉県蓮田市) 許可病床数 532 床



神経系疾患、呼吸器系疾患、回復期リハビリテーションの拠点病院。近隣県の患者も受け入れており、同院でモデル化された在宅医療推進事業が平成30年度から蓮田市・白岡市・宮代町の事業としても実施され、サポートしている。